

(様式3) 【学校用】

ふるさと教育 取組事例

学校名	海士町立海士中学校		
学 年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
1	総合的な 学習の時間	海士の暮らしにワンアクション	○小学校で取り組んだ地域課題 ○地域の方々
ねらい		「子ども議会」で自身が提案したテーマを活かして町をよくするための活動を通して、実践者として課題解決に取り組むことの意義を知り、地域づくりのよさや意義について理解する。	
<p>1 取組の概要</p> <p>小6で取り組んだ「子ども議会」学習（＝よりよい町づくりのための提案を考える）のテーマを活かし、地域をよりよくするためのアイデアを考え実践する。そのアイデアが地域で暮らす「誰の」「何の」ためになるのかを考えながら、小さなアクションを積み重ねる過程で学びを深める。</p> <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</p> <p style="padding-left: 20px;">（ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちと同じ課題意識を持っている地域の方々に相談したり助言をいただいたりして関わる中で、海士のために働いたり活動したりしている人々の思いや価値観に触れる。（愛着や誇り） ・小6の学習で深めた探究課題を扱うことでより主体的な活動につながり、実践者という立場を大切にすることでよりよい海士の暮らしを自らつくる意欲につなげる。（貢献意欲） <p style="padding-left: 20px;">（学力育成の視点から）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海士の人や海士に関わる人たちのために「自分たちがアイデアの提供者になる」ことを重視。自分たちのためだけでなく、町に貢献できる実践につなげる。（主体性・社会参画） ・同じ地域課題に興味をもつ生徒がグループとなって活動することで、他者と協働しながら課題解決に取り組む。（協働性） <p>3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等）</p> <p style="padding-left: 20px;">（ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親身に真摯に関わってくださる地域の方々に対して尊敬や感謝が生まれた。（愛着や誇り） ・自分にできる地域のための「ワンアクション」の実践によって、小さくても成功体験を積むことができた。（貢献意欲） <p style="padding-left: 20px;">（学力育成の視点から）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ワンアクション」という言葉の通り小さくても行動を起こすことの大切さを重視することで、具体的な目標や現実性の高い計画を立てて実行することができた。（行動力） ・活動の過程において何度も「自分たちは実践者であり価値の提供者である」ことを確認することで、小6の活動（提案）からのステップアップを図ることができた。（社会参画） <p>4 課題や今後の展望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校での学習からのつながりをより一層意識し、同じ活動でも異なるレベルを求めたい。 （例えば、情報収集のためのアンケート調査を行う際、アンケート作成や結果の分析などにおいて中学生レベルで実施できるようにする） ・結果（何を実践したか）ではなくプロセス（どう試行錯誤して実践してきたか）を評価することは続けていきたい。 ・「総合的な学習の時間」として身に付けたい様々な力を「ふるさと教育」という観点でも見直す必要がある。そうすることで地域資源から学ぶものがさらに増え、結果として学力の育成につながっていくのではないだろうか。 			

※取組の様子がわかるような画像(1枚が500kb以下)を数枚貼り付けてください。

※この事例をしまねのふるさと教育ホームページに掲載する予定のため、画像は必ず承諾を得たものにしてください。

●地域の方へのインタビューや相談の様子



●活動の過程を「すごろく」で振り返る作業



●地域の方を招待しての最終発表会



※取組の様子がわかるような画像(1枚が500kb以下)を数枚貼り付けてください。

※この事例をしまねのふるさと教育ホームページに掲載する予定のため、画像は必ず承諾を得たものにしてください。